

「どの花も 願いがあって咲く」

校長 西山 幸代



改めまして、諫早特別支援学校から赴任してきました、校長の西山幸代です。どうぞよろしくお願いいたします。

初めて本校を訪れた時、玄関前やわくわく広場を彩る花々が美しい学校だと思いました。その花は、保護者の方が「花いっぱい活動」で植えてくださったものです。校内に入ると保健室前の水槽で悠々とする金魚やザリガニ、イモリ、ゲンゴロウ、ウーパールーパーがいて、金魚には助さん、格さん・・他の生き物にも全部名前が付けられています。これらは、長崎女子短期大学の松尾公則先生（通称カエル先生）が連れて来てくださったものです。松尾先生には、学生さんと共に平成29年度から継続してカエルの授業を行っていただいております、子供たち職員もとても楽しみにしていると聞いています。子供たちが本物に触れ、花や生き物を慈しむことができることは、幸せなことです。他にも長崎南高校吹奏楽部の演奏や長崎鶴洋高校のドローンを使った水族館、また、近隣の商店や銀行、郵便局には、買物学習や作品展示でお世話になっています。学校の応援団に日々感謝しながら、「子供たちの夢と希望を支える学校づくり・人づくり・街づくり」を目指して参ります。

今年度は、通学、訪問教育の児童生徒併せて50名、教職員64名のスタートです。子供たちが真ん中にいる！を合言葉に、学校と家庭が両輪で子供たちの成長を支えていきたいと思っておりますので、保護者の皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。作家大佛次郎さんの本の一節に「どの花も願いがあって咲く」という言葉があります。50名の子供たちには50の願いがあります。その願いを叶えるために、校訓である「明るく 強く 豊かに生きる」～ほおずり ゆさぶり よびかけ ふれあい～を実践し、子供たちにとって魅力のある学校づくり、明日が待たれる学校づくりに邁進して参ります。

話は少し変わりますが、私が毎日、楽しみにしていることの一つにお昼の放送があります。給食の検食での気付きや注意点、おすすめなどを伝えたり、子供たちからのリクエスト曲を流したりしています。他にも授業での作品や委員会活動での取組を紹介することで一人一人の頑張りを伝えるようにしています。また、時候や祝日の由来、行事など折に触れて、日本の伝統文化についても感じてもらえるといいなと思っているところです。毎日、教室を巡回しながら、リクエストボックスを覗き、用紙が入っていたらやったー！何も入っていなかったらがっかり…そんな風にドキドキ、ワクワクできるのも子供たちのおかげです。朝、高等部放送委員の「今日は〇〇の日です！」揚々と聞こえてくるアナウンスに刺激を受けながら、放送にやりがいを感じている自分がいます。

最後に、本校は教員、実習助手、養護教諭、校内看護職員、介助員、介助業務補助員、事務職員などさまざまな職種スタッフがいます。今年度から医療的ケア通学支援看護職員も加わりました。チーム長特として、子供たちの安全安心と日々の教育活動の充実を最優先にしながら、一人一人がスクラムマスターとなって、連携した学校づくりを推進します。

～人に恵まれ、時に恵まれ、場所に恵まれることを実感するこの学校にて～